

れいわ5ねんど むかいやましょう1ねん1くみ

Foorin074

2023.07.03.月

恋焦がれた！タブレット・デビュー①

満を持して、1年生のタブレット活用を開始しました。

タブレット端末自体は、4月末には届いていたのですが、活用は、2か月遅れとなりました。

ICT活用スキル育成は、現代社会のとても大切な教育課題です。

しかし、1年生にとっては、学校生活



や授業に慣れること、学習スキルを身に付けることの方が優先順位は高いです。

それらの土台の上にタブレット活用スキルを組み立てていかなければならないと思っています。

学習スキルがおろそかな状態で、タブレット端末に飛びつくと、どちらも中途

半端になってしまいます。

「学習効果を上げるためのツール（タブレット端末）」が、操作することに時間を費やしてしまいますという本末転倒の事態になりかねません。いや、必ずなります。

入学から3か月近くたちました。
教室での授業システムが安定してき





ました。多くの子が見通しを持って取り組むようになりました。ノートに書く文字も整ってきました。計算も教えた通りの手順で正解にたどり着けています。

学習のシステムもスキルも完璧という状態ではありませんが、ここ最近の子ども達の様子を見ながら「そろそろかな」とスタートさせることにしました。

子ども達からは、「せんせい、タブレットまだですか〜?」とおねだりをずっとされていたのですが、「せんせいからいわれたことを ぜんいんが できるようになってからね」と、突っぱねていました。

これは、タブレット活用を先延ばしするための言い訳ではなく、本音です。



タブレット端末は、子ども達にとって魔法の板です。時空を飛び越えて願いを叶えてくれたり、想像の外側を教えてくれたりします。

とびきりの面白さのせいで、クラスが集団行動したり、一人ひとりが目的をもって行動したりできるような状態以前で渡せば、操作にのめりこんで学習に戻



ってこなくなります。

その状態になってしまうと、後戻りできません。押しても引いてもクラスを制御できなくなります。

「言われたことを全員ができる」＝「自分の感情と意思を制御できる」です。

この空気を少し感じれるようになった今日この頃ですので、キックオフすることにしました。

